

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	未来に飛躍する人づくりプロジェクト	実施期間	H27～H29	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い児童生徒数の減少による学校の小規模化が進行している。 ・一定規模の児童生徒数・学級数を確保し、多様な学習指導や多角的な人間関係の育成を図るため学校再配置事業に取り組んでいるところである（平成28年度完了予定）。 ・すべての子どもの健やかな育ちを保障し、安全で安心して学べる教育環境を整備する必要がある。 ・保育所・幼稚園においても子育てと仕事の両立支援のため、ニーズに応じた教育・支援の充実が必要となっている。 						
プロジェクトの目的及び概要	多様なニーズに対応した質の高い幼児期の教育・保育を総合的に提供する。また、子どもたちがこれからの社会を生き抜く力を養うとともに、就学前から中学校修了までの一貫した質の高い教育環境づくりを進める。						
	総事業費（千円）	504,139	本年度事業費（千円）	150,645	交付金額（千円）	38,300	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	就学支援・教育相談事業	交付対象事業	児童生徒の心身の悩みや不登校等に対応するための教育相談を実施する。		カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談事業や研修を実施した（相談件数81件）。		
	教育支援センター管理運営事業	交付対象事業	不登校となっている児童生徒のための支援を行う。		不登校等にある児童生徒に対し、京丹後市教育支援センター指導員が学校訪問等を行うとともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行った。		
	小学校スクールサポーター等設置事業	交付対象事業	よりきめ細やかな指導、円滑な授業の実施等のためのスクールサポーター等を配置する。		児童一人ひとりの課題・特技を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるため、スクールサポーターを配置した（31人）。		
	中学校スクールサポーター等設置事業	交付対象事業	よりきめ細やかな指導、円滑な授業の実施等のためのスクールサポーター等を配置する。		児童一人ひとりの課題・特技を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるため、スクールサポーターを配置した（21人）。		
	保育所児童送迎バス運行事業	交付対象事業	保育所児童送迎バスの運行を実施する。		保育所統合により、通所範囲が広がったこと等により児童送迎バスの運行を実施した。		
	放課後児童健全育成事業	関連事業	放課後児童クラブを設置運営する。		昼間に家庭保育を受けることができない小学校に通学する児童を対象に、安心して生活できる場を提供した（年間開設日数290日・年間平均児童数370人）。		
	子ども未来まちづくり審議会事業	関連事業	子ども・子育て支援事業計画及び保育所再編等推進計画の進行管理等を行う。		子ども・子育て支援事業計画、放課後子ども総合プラン行動計画に関する審議並びに次世代育成支援対策行動計画及び保育所再編等推進計画の進行管理を行った。		
	保育所保育事業等補助金	関連事業	民間保育者が行う事業の運営実施のための体制づくりを支援する。		私立保育所が行う事業の円滑な運営ができるよう体制づくり等を支援した。		
	峰山統合保育所整備事業	関連事業	峰山統合保育所の整備を行う。		峰山統合保育所整備に伴い、仮設保育所の解体、敷地内の遊具移設及び整地等を行った。		
学校再配置推進事業	関連事業	学校づくり準備協議会を設置し、具体的な調査研究を行う。		学校づくり準備協議会を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現した（1校開校・2校閉校）。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹後市

市町村 実施事業	小中一貫教育推進事業	関連事業	小中一貫教育の調査研究を行う。	小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行った。また、小中一貫教育実施校及び導入準備校（3校）を指定し、教育活動の実践、検証、評価を行った。	
	授業実践力向上対策事業	関連事業	小中一貫出前講座、ニーズに応じた研修講座を実施する。	新・授業実践力開発講座、小中一貫教育出前講座及び教育実践力サポート講座を開設した。	
住民 協働 事業	学校安全対策事業	関連事業	登下校時のパトロールや巡回指導等を行う。	教職員、PTA、地域の見守り隊（ボランティア）等により地域ぐるみの見守り活動を行った。	
	教育のまちづくり推進事業	関連事業	地域全体で学校教育を支援するため、地域住民により学習支援等や多様な学校の支援活動を行う。	様々な特技や技能をもった地域の人材を学校支援ボランティアとして登録していただき、全ての学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った（延べ12,152人）。	
	幼稚園スクールサポーター等設置事業	関連事業	円滑な幼稚園運営のため、介護・預かり保育職員を設置する。	適切かつ円滑な幼稚園運営を行うため、幼稚園にスクールサポーターを配置した（10人）。	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	待機児童 H26 0人 → H29 現状維持		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)	0人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 子ども・子育て支援事業計画及び保育所再編等推進計画の進行管理並びに民間保育者が行う事業の運営実施のための体制づくりの支援を行ったため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	認知されたいいじめの年度内解消率 H26 小92.5%中95.8% → H29 小中100%		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)	小100%中100%
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 臨床心理士による研修や教育相談を継続して実施することで児童生徒の問題行動の防止、スクールサポーター設置によりきめ細やかな指導などを行ったため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果 指標 ③	成果指標の目標数値	全国学力・学習状況調査の各教科の平均正答率 H26 - → H29 全国平均以上		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)	中学数学Bを除いて平均以上
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動の展開及び質の高い授業づくりなど、授業実践力等の向上などが図られたため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	学校・家庭・地域が連携する子育て・安全対策、確かな学力及び豊かな心を育成するための学習集団作りに関する実践力の向上等、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したよりより教育の実現に繋がった。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：京丹後市

本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	スクールガード・リーダー、子ども安心にこここカー、地域見守り隊（ボランティア）の活動により、地域で子どもを守る意識の醸成に繋がった。
	リーディング・モデル成果	幼稚園、小学校及び中学校にスクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に繋がった。
	行財政改革に資する成果	保育所統合、学校施設の再編により施設運営のランニングコストの削減が図られた。
	その他の成果	児童・生徒の不安を和らげ、心のゆとり、手助けを行うなど、スクールサポーターと教職員が連携・協力し、学習に集中できる環境を整えることができた。